

## 新年礼拝

### 「神と人に尊ばれるために」

ローマ 14:1-18

2019.1.6 HKJCF

1

## 概観

教会という共同体の中でどのように互いに成長するか、御国の中で何が一番大事なのかを学びたい。

### アウトライン

1. 律法主義と自由主義
2. 愛による行動
3. 義と平和と聖霊による喜び

2

### 1. 律法主義と自由主義

- 1) ローマの教会: ユダヤ人と異邦人; 偶像にささげられた肉、祭日、ワインの問題。
- 2) 律法主義から福音へ: 真理が受肉するプロセス; 交わりの問題; 救いと無関係。
- 3) 自由の考え方: 神様のために (V6-8); Can → Should; さばくことと侮ること ⇒ 越権行為。人間関係の真ん中に十字架を置く考え方。
- 4) 主体性のある信仰: 聖書の価値観の下に、愛のゆえに自由の発揮する。

3

### 2. 愛による行動

- 1) 成長の妨げとつまずき: 教会の兄弟姉妹による傷とショック; 交わりの姿による伝道; 世間と違うコミュニティー (ヨハネ13:34-35)。
- 2) 確信が浅い時: 分かっているがまだ手放せない (V14); 弱さを分かち合う勇気ときっかけ。
- 3) 自由を貫くリスク: 相手が信仰から離れてしまうリスク (V15); 十字架の御業の尊さ。
- 4) 自分が良いとすること: 共同体の交わりと結果で吟味する; 教会の徳と建て上げ。

4

### 3. 義と平和と聖霊による喜び

- 1) 義: 関係性で考える; 義とされ、義を確立させる人。真理を曲げず、恵みに富む姿勢。
- 2) 平和: 神との平和が与えられ、平和を作り出す人。教会の一致と交わりのために。
- 3) 聖霊による喜び: 聖霊に満たされている人; 祝福と創造性による喜びと期待。
- 4) 神に喜ばれ、人に認められる: キリストに仕える人の祝福; 聖書の価値観と御霊によって生きる人の幸い (詩篇 1:1-3)。

5

## 適用

- 1) 平和と霊的成長を追い求めるように: 神様が大事にしておられることを自分も大事にできるように (ローマ14:19)。
- 2) 栄光を表す生き方を意識するように: 今年はイエス様のように造り変えられることが前進するように。

6